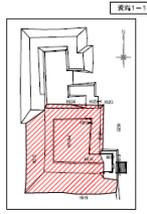
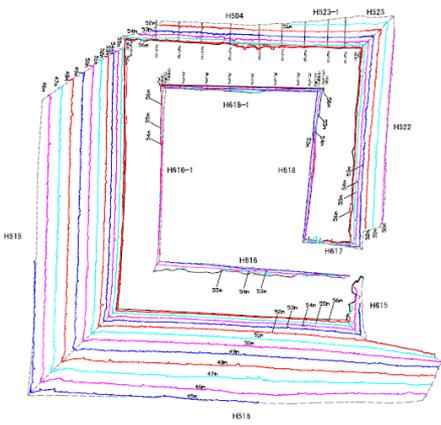


大天守石垣復旧について

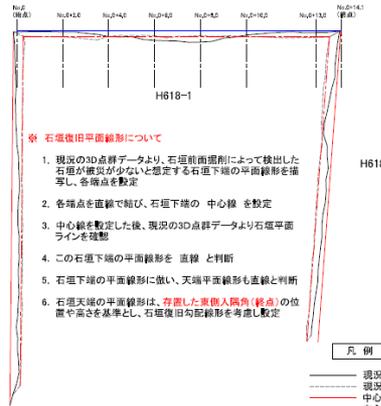
平面図H618-1

大天守等高線図 (縮尺 1/150)



位置図

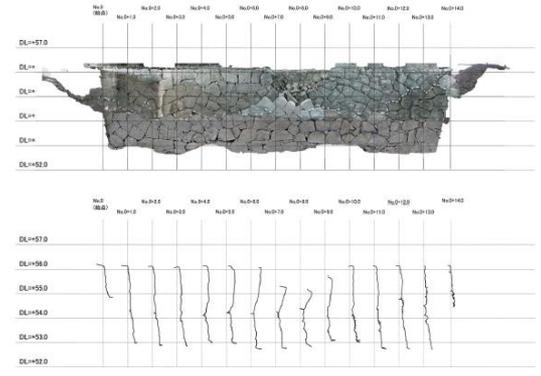
凡例
各色線 等高線
--- 石垣天端
--- 石垣下端



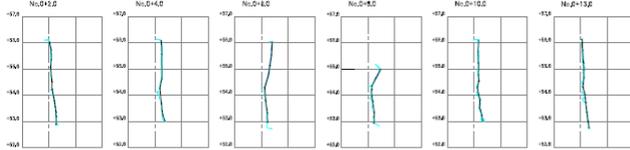
凡例

- 現況線(天端)
- 現況線(下地)
- 中心線(天端・直線)
- 中心線(下地・直線)
- 復旧平面線形=中心線(上端・直線)

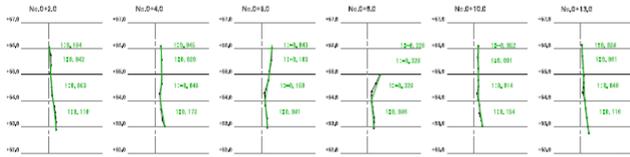
H618-1 断面図



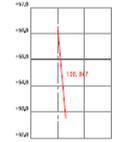
H618-1 現況測量による平滑化断面図 (現況石垣表面ライン)



H618-1 現況測量による平均勾配断面図



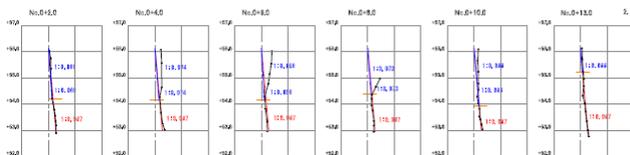
基準勾配



⑩ 基準勾配の動定

1. 全体形構成の定規が小さい場合、全体形構成の定規が小さい場合、石垣前面掘削によって検出した箇所を参考とした。
2. 石垣基準勾配25° (1:0.887) が妥当と判断した。

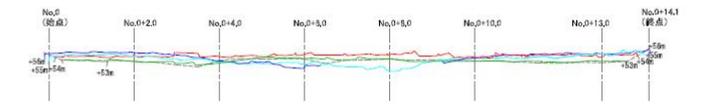
H618-1 復旧案 断面図



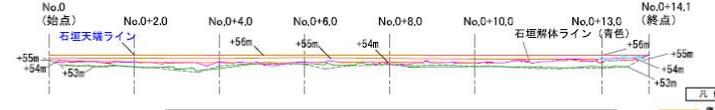
凡例

- 現況線
- 平滑化断面線
- 平均勾配断面線
- 基準勾配線
- 平均勾配線
- 復旧境界

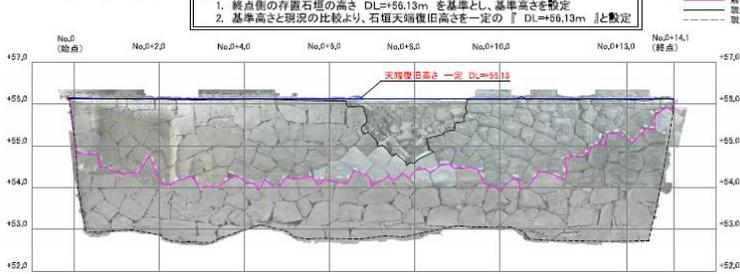
H618-1 現況測量による等高線図



H618-1 復旧案 等高線図



H618-1 復旧案 立面図



- ※ 石垣天端復旧高さ
- 1. 終点側の存置石垣の高さ DL=+56.13m を基準とし、基準高さを動定
- 2. 基準高さと現況の比較より、石垣天端復旧高さを一定の『DL=+56.13m』と動定

凡例

- 復旧等高線
- 復旧石垣天端
- 現況石垣天端
- 現況石垣下地

